

## Season Lao: An Empty Room Turns White for Enlightenment 虛室・生白

中華文化圏においてとても有名な廖新田氏が Season Lao の批評をカタログに収録しています。廖氏は中華圏現代水墨画の父-劉國松氏の専門研究としても有名です。水墨の精神である気韻生動、現代革新的な視点で劉國松、Season Lao を研究し、その成果は 2024 年末に出版されます。

廖氏が館長として勤めていた国立歴史博物館は台湾初の美術館です。国宝から中華圏の現代美術家 趙無極、劉國松などの文脈にとって重要な学術な役割を担っています。

水墨画の「余白」は気韻生動のフィールドである。生命の節奏と美学の韻律の創造である。山水画において、余白は雲や流れる水を暗示しており、その「残す」という考え方は「気韻生動」を醸造する。「無」は「有」の源である。シーズン・ラオは作品の中でこういった境地を流用 (appropriation) して昇華(sublimation)している。彼の「余白」と「気韻・生動」は芸術家の主体に完全に支配されるものではなく、自然の縁起から生じる。画面上の天地は、どこかに実際に存在した「虚」と「実」の精神の交錯する瞬間である。その手法は「無為自然」という哲学観と内面的に共鳴するものである。

水墨畫的「留白」乃呈現氣韻生動的場域☐ 營造生命 節奏與美學韻律。一幅山水畫裡☐ 空白暗示著雲氣、流水貫穿☐ 是「留」的構思☐ 是「氣韻生動」的醞釀。白是黑的載體☐ 「無」是「有」之源...劉善恆在作品中 挪用 (appropriation) 這種意境並且予以再昇華 (sublimation)☐ 他的「留白」與「氣韻生動」緣起於自然。畫面中的天地乃某處存在過的「虚」與「實」靈 動交錯瞬間☐ 並非由藝術家主體全然宰制此方式與「無為自然」的哲學觀有內在的呼應。